

今(子育て)を楽しんでいますか？

子どもが小さい時には、早く大きくなってくれないかなあと思った方も多いでしょう。夜泣きに睡眠時間を奪われ昼間の仕事が進まなかったり、よその子との成長速度の違いが気になったり、たびたび病院のお世話になったりした方もいらっしゃるでしょう。早く大きく成長して自分のことは自分でできるようにならないかとその日を心待ちにした方も多いはずです。



私自身三人（うち二人は双子）の子育てを経験し、幼いころの子育ての大変さは身に染みて分かっています。夜泣きに悩まされ、ミルクを飲ませ、おむつ交換をし、本を読んで寝かしつけ、毎週病院通いをしながらも仕事をこなし、何とかその日その日を送ったものでした。（当然妻の苦労とは比較にはなりません…）

さて、中学生になった今はどうでしょう。幼いときの心配はなくなったもののまた違う心配事も多くなってきたのではないのでしょうか。進路、勉強、友達、部活、反抗期、二次性徴など思春期ならではの悩みを抱えた生徒も多くいます。今となっては「幼かったあの頃の方がよかったなあ。」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

当時は大変でも幼子がかわいく懐いてくれましたが中学生ともなると親とあまり話さなくなり何を考えているのか分からなくなります。甘やかすとつけあがるし、きつく叱責すると閉じこもったり反抗したりするし、何も言わなければ放任、無関心ととられるし、何気ない一言が傷つけることもあります。そのため、顔色を見ながら声をかけなければならないことも多いことと思います。

しかし、数年たてばわかります。あの頃（中学生の頃）がよかったなあと思います。いつの世も過ぎ去ってからその時代のよさがわかるのです。子どもが身近にいるという事実、それだけが幸せの必要十分条件なのです。

今、私の家には子どもは一人もいません。実家から遠く離れたところで三人とも生活しています。寂しいと思うことはありませんがやはり家の中の空気の違いを感じます。子どもがいる家独特の温度、音、匂いなどが希薄になり自ずと会話も減ってくるのです。

いよいよ夏季総合大会、3年生にとっては最後の大会が迫ってきました。試合で活躍しようがしまいが、勝とうが負けようがわが子のありのままの姿を応援し、目に焼き付けておいてください。あっという間に家からいなくなりますよ。今を楽しんでください。私から見れば羨ましい限りです。

裏面もご覧ください。

うちの子スマホばかりで勉強しないんです

スマホ・ゲーム考 その1

私が教員になった昭和50年代後半はいわゆる「校内暴力」が全国に吹き荒れ、生徒指導の問題といえばこれ一点に絞られた。私の初任校もなかなか手ごわい生徒が多い中学校で、喫煙、奇抜な髪形や制服、他校の生徒とのトラブル、授業中の逃亡などに全精力をつぎ込み授業どころではない日も多かった。

当時、もしスマホやゲームがあり、それに興じている生徒がいたとしても前述のような問題がない限り、全くのノーマークでむしろ「難しいことができるんだね。」などと褒めていたかもしれない。



時代と共に生徒指導上の問題が変化している以上「スマホは本当に悪か」という次元から考えなければこの問題は解決しない。しかし、答えは明白で、スマホをすることによってもたらす悪影響が問題であってスマホ自体は悪ではないことは誰もが納得いく結論であろう。こんな便利なものを手に入れてしまった以上もう手放すことは不可能である。

次に「スマホがなければ勉強するのか」という問題であるが、もしそれが真ならばスマホのない時代はみんな勉強していたことになる。当然そんなことはなく、スマホ登場以前の時代ならテレビや漫画が勉強を阻害する要因となっていた。私の時代はラジオ、レコードという選択肢もあった。それではもう一つ時代をさかのぼり、テレビ、漫画のない時代はみんな勉強していたのかと聞かれればこれもまたNOである。日の暮れるまで野山で遊び、夜は遊び疲れてすぐに寝る時代であり、親も「勉強する時間があるなら家の手伝いでもしろ。」と言っていた時代である。

以上のことから、勉強しないことが問題であって、スマホというツールそのものに問題はないのである。つまり、「スマホばかりで勉強しない子をどうするか？」という問題は、「遊んでばかりで勉強しない子をどうするか？」という問題と本質は同じなのである。

では、どうすればスマホを手放し勉強に向かうのか。以降の学校だより「スマホ・ゲーム考 その2」で考えを述べていきたい。自分で少しハードルを上げすぎたきらいもあるが頑張ります。

Topics

6月20日、長田祐美教諭が女兒を出産されました。喜びに満ちた元気そうな声の報告を受け、お祝いを言いました。合唱コンクールには子ども連れて来られるかもしれませんね。

